

第 33 回高齢者排泄ケア講習会

日時：平成 24 年 11 月 16 日（金）19:00 ～ 20:30

場所：KKR ホテル博多 2 階 シリウス

〒810-0022 福岡市中央区薬院 4-21-1

参加費：1,000 円 募集定員：300 名 **※事前申込が必要です**

【申込方法】

■必要事項①所属施設名・住所（施設に所属してなければご自宅の住所で結構です）②氏名（ふりがな）③電話番号④「第 33 回講習会受講希望」と明記のうえ、ハガキもしくは FAX にて下記事務局までお申込ください。申込締切日は平成 24 年 11 月 8 日（木）です（当日消印有効）。11 月 13 日（火）までに先着 300 名様へ入場券を送付します。入場券がお手元に届かない場合はお申込みが受け付けられておりませんので、下記事務局までご連絡ください。

■入場券がない場合は受講できません。当日の申込は受け付けておりませんのでご了承ください。

■当委員会ホームページ（<http://fukuokahaisetsu-net.org/>）でも申込を受け付けておりますので、ぜひご覧ください。

■締切日以降は、お電話にて直接お問合せください。締切日前でも定員になり次第、締め切らせていただきます。

■お申込によりご提供いただく個人情報は、講座出欠および以外の目的で使用されることはありません。

テーマ：介護・看護における感染予防

- ◆ 開会の挨拶／宮崎良春 先生（特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会 理事長）
- ◆ 座長 武井実根雄 先生（特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会 事務局長）

演題：カテーテル関連尿路感染予防策と標準予防策の重要性について

19:00～19:30

講師：品川 智子 先生（原三信病院 看護部科長 感染管理認定看護師）

～ 講師からのコメント ～

尿路感染は医療関連感染の中で最も多い感染症と報告されています。最近では急性期施設のみならず長期療養型施設や在宅への対応も必要となってきました。カテーテル関連尿路感染予防のためには、尿道カテーテルの適正使用・挿入時の適切な手技・維持のための適切な手技など基本的な対策をケアに関わるすべての人たちが理解し対応できることが必要だと考えています。また、医療サービスを提供する場が拡大するなかで施設内及び地域における耐性菌の伝播を防止するために、標準予防策の重要性についても一緒に考えたいと思います。

演題：排泄障害での尿路感染症の予防と取り扱い

19:30～20:30

講師：野口 満 先生（佐賀大学医学部泌尿器科 准教授）

～ 講師からのコメント ～

高齢者の排泄ケアでの尿路感染症の取り扱いには頭を悩ますことがある。高熱などの有症状はともかく、尿路感染に対する治療と予防については現場ではいまだ混沌としていることも多い。カテーテル留置においては、アメリカから「カテーテル関連尿路感染予防のための CDC ガイドライン」が発信されているが、オムツ管理、在宅医療を受けている患者さん等では、尿路感染症の評価も難しく、その対策はさらに難しいのが現状と言える。とは言え、尿路感染症は致命的になりえることから、排泄ケアにおいて排尿障害に対する適切な治療とケアおよび尿路感染に対する予防戦略は不可欠と言える。今回、排泄ケアを受けている高齢者の看護・介護における尿路感染予防に焦点をあて、概説させていただく。

- ◆ 閉会の挨拶／山口秋人 先生（特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会 副理事長）

共催：特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会・杏林製薬株式会社

後援：福岡市泌尿器科医会・福岡市医師会・福岡県看護協会

NPO 法人 福岡高齢者排泄改善委員会 事務局（月曜～金曜 9:00～17:00 土・日・祝日 休）

〒812-0033 福岡市博多区大博町 1-8 TEL: 092-282-5910 FAX: 092-282-5812

